2025年度　通信教育実施計画

地理総合

指導目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）　地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2）　地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3）　地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

教材	教科書：「高等学校新地理総合」（帝国書院） 学習書：「地理総合　学習書」（ＮＨＫ出版） 地図帳：「新詳高等地図（702）」（帝国書院）、レポート・学習ノート

レポート	全６回
面接指導	標準時間数：3時間（※面接指導減免8割の学習者の必要時間数は1時間）
放送	全20回（テレビ　WEB視聴可）
到達度チェック・試験	中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）

単位	2単位
評価	【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックの成果、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。 上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
月	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1 2	①地理総合オリエンテーション(1) 学習目標・内容 ・地理総合の教材や学習内容の確認を確認する。特に「GIS、SDGｓ、防災」が学習の柱となることを理解する。 ・地図帳の索引から都市の位置を調べる作業などを通して、使い方・調べ方を認識する。	1	地球で暮らすってどういうこと？ ～地球上の生活～	オリエンテーション（VOD） ・科目の学習概要の説明	
			3 4	②地理総合オリエンテーション(2) 学習目標・内容 ・地理総合の教材や学習内容を確認する。 ・GISや写真などの資料を使って、代表的な地形の成因や特徴を理解する。	2	GIS って何？～ GIS と地図～		
5			1 2	③地理総合オリエンテーション(3) ・地理総合の教材や学習内容の確認。 第1回レポート(1) 指導単元名「地図と地理情報システム」、「結びつきを深める現代世界」 学習目標・内容 ・地図に関する基本事項や時差の計算方法などを確認する。 ・GISや写真などの資料を使って、代表的な地形の成因や特徴を理解する。 ・放送視聴課題（論述）において、放送から得られた「事実」とそれに対する「感想」を含めたまとめ方を理解する。	3	何がグローバル化しているの？ ～グローバル化～		

	第1回 (5月25日)	・地図や地理情報システムと現代世界	3 4	④地理総合オリエンテーション(4) ・地理総合の教材や学習内容の確認。 第1回レポート(2) 指導単元名「地図と地理情報システム」、「結びつきを深める現代世界」 ・自然的国境と人為的国境の例を地図上で確認し、現代国家の成り立ちを理解する。 ・「地理院地図」の操作方法を理解する	4	大地は動いている？ ～大地形と生活～		
6			1 2	⑤第2回レポート(1) 指導単元名「世界の地形と人々の生活」、「世界の気候と人々の生活」 学習目標・内容 ・大地形と小地形の例を、写真やGIS資料などを用いて捉え、そこでの暮らしを想像する。 ・大気大循環などの例をもとに、気候要素と気候因子の関連性を理解する。	5	暮らしは地形と結びついている？ ～小地形と生活～		
			3 4	⑥第2回レポート(2) 指導単元名「世界の気候と人々の生活」 学習目標・内容 ・ケッペンの気候区分の区分方法や地図上での色分けを把握し、気候要素と気候因子の関連性を理解する。 ・雨温図やハイサーグラフの読み解きを通して、気候の特徴を理解する。	6	なぜ気候の違いが生まれるの？ ～気候の成因と生活～		
7	第2回 (7月10日)	・世界の地形・気候と人々の生活	1 2	⑦第2回レポート(3) 指導単元名「世界の気候と人々の生活」 学習目標・内容 ・熱帯や乾燥帯、温帯などの中から、いくつかの気候区分の例を取り上げ、その地域での衣食住に着目し、暮らしを想像する。	7	気候変われば暮らしも変わる？ ～各気候の生活～		
			3 4	⑧第2回レポート(4) 指導単元名「世界の気候と人々の生活」 学習目標・内容 ・亜寒帯や寒帯、高山気候などの中からいくつかの気候区分の例を取り上げ、その地域での衣食住に着目し、暮らしを想像する。 ・雨温図やハイサーグラフの作図を通して、その地域での暮らしを想像する。	8	世界のさまざまな暮らしとは？ ～言語・宗教と生活～		
8			1 2	⑨中間到達度チェック範囲の第1回、第２回レポートの復習(1) ・丸数字③～⑧の中で、未実施の内容を優先的にご活用ください。			オンラインサポート（VOD） ・中間到達度チェック対策（第1回、第２回レポートのポイント）	
			3 4	⑩中間到達度チェック範囲の第1回、第２回レポートの復習(2) ・丸数字③～⑧の中で、未実施の内容を優先的にご活用ください。	9	歴史は暮らしにどう影響している？ ～歴史と生活～		
9			1 2	⑪中間到達度チェック範囲の第1回、第２回レポートの復習(3) ・丸数字③～⑧の中で、未実施の内容を優先的にご活用ください。	10	ものづくりが暮らしを支えている？～生産する産業と生活～		中間到達度チェック（第1回、第2回レポート）

	第3回 (9月30日)	・世界の言語・宗教・歴史的背景・産業と人々の生活	3 4	⑫中間到達度チェック範囲の第1回、第２回レポートの復習(4) ・丸数字③～⑧の中で、未実施の内容を優先的にご活用ください。	11	新しい産業で暮らしはどう変わる？～現代の産業と生活～		
10			1 2	⑬⑭第3回レポート(1) 指導単元名「世界の言語・宗教と人々の生活」、「歴史的背景と人々の生活」、「世界の産業と人々の生活」 学習目標・内容 ・世界の言語・宗教・歴史・産業についての代表的な例に関する特徴を理解する。 ・旅行プラン作成に向けて、対象の高校生の出身地域についての情報を整理する。	12	持続可能な社会って何? ～地球的課題と地球環境問題～		
	第4回 (10月30日)	・地球的課題と地球環境問題、資源・エネルギー問題	3 4		13	エネルギーをどう使えば持続可能？ ～エネルギー問題～		
11			1 2	⑮第4回レポート(1) 指導単元名「複雑に絡み合う地球的課題と地球環境問題」、「資源・エネルギー問題」 学習目標・内容 ・最新のニュースやウェブサイトの資料も活用し、SDGｓの概要と、地球環境問題との関連性を認識し、自らができることを論述などによって考察する。また、他者との意見交換を通して、多様な視点を確認する。 ・地図資料や統計資料を用いて、資源の偏在の現状を理解し、課題解決へ向けた取り組みを意識する。	14	人口問題を解決するには？ ～人口問題～		
			3 4	⑯第4回レポート(2) 指導単元名「複雑に絡み合う地球的課題と地球環境問題」 学習目標・内容 ・地球環境問題の具体例を、写真や各種資料を用いて認識し、自らができる取り組みを考察する。また、その実行に向けた計画を、他者と共有する。	15	世界に飢餓と飽食があるのはなぜ？～食料問題～		
	第5回 (12月5日)	・人口問題・食料問題、都市・居住問題	1 2	⑰第5回レポート(1) 指導単元名「人口問題・食料問題」 学習目標・内容 ・SDGｓの目標と、食料問題との関連性を理解する。 ・感染症予防につながることを論述でまとめるなどの取り組みを通じて、SDGsの実践を意識する（教科書p.186～18７参照）。また、他者の論述を読むことなどを通して、多様な意見があることを認識する。	16	都市ではどのような問題が起こっている？ ～都市問題～	オンラインサポート（VOD） ・年度末試験対策（第3回、第4回レポートのポイント）	

12			3 4	⑱第5回レポート(2) 指導単元名「人口問題・食料問題」、「都市・居住問題」 学習目標・内容 ・地図帳の資料を活用し、人口に関する地域ごとの特徴を捉える。 ・アメリカにおいて、フードバンクが行われるようになった背景を、論述形式でまとめ、理解する。 ・写真や資料を用いて、都市・居住問題の地域ごとの特徴を捉える。 　年度末試験の範囲の第3回、第4回レポートの振り返り(1) ・丸数字⑬～⑮の中で、未実施の内容を優先的にご活用ください。	17	日本の地形と災害とは？ ～日本の地形と自然災害～		
1			1 2	⑲年度末試験の範囲の第3回、第4回レポートの振り返り(2) ・丸数字⑬～⑮の中で、未実施の内容を優先的にご活用ください。	18	日本の気象と災害とは？ ～日本の気候と自然災害～		年度末試験（第3回、第4回レポート）
			3 4	⑳年度末試験の範囲の第3回、第4回レポートの振り返り(3) ・丸数字⑬～⑮の中で、未実施の内容を優先的にご活用ください。	19	防災にどう向き合う？ ～自然災害と防災～		
2	第6回 (2月10日)	・日本の自然環境、地震・津波・火山災害と防災、気象災害と防災、自然災害への備え	1 2	㉑第6回レポート(1) 指導単元名「日本の自然環境、地震・津波・火山災害と防災」、「気象と防災、自然災害への備え」 学習目標・内容 ・「地理院地図」ウェブサイトを使った、３D地図の見方を理解する。 ・日本の自然災害の特徴を、１つ挙げ、それに対する避難や対応の仕方を考察する。 ・ハザードマップの読み解き方を理解する。	20	地域の課題をどう解決する？ ～持続可能な地域づくり～		
			3 4	㉒第6回レポート(2) 指導単元名「日本の自然環境、地震・津波・火山災害と防災」、「気象と防災、自然災害への備え」 学習目標・内容 ・日本の自然災害の特徴を、地形や気候と結び付けて理解する。 ・世界の自然災害の特徴を、地形や気候と結び付けて理解する。 ・地理総合を学んでの感想を論述形式などでまとめ、他者と共有する。				
3			1 2	㉓時差、気候、GIS操作方法の振り返り(1)				
			3 4	㉔時差、気候、GIS操作方法の振り返り(2)				